

## 令和4年度 事業経営計画

日本経済は、令和3年度末にかけて新型コロナウイルスの第6波が収束に向かう中、第7波の兆しが見られるなど、令和4年度も新規感染者の増加と減少に合わせて経済活動の制限と緩和が繰り返される中で緩やかに持ち直していくと考えられる。こうした状況下、企業活動は、海外での新型コロナウイルス感染拡大による生産制約、コンテナ船輸送の遅延など世界的な物流の混乱により、サプライチェーンの停滞が長期化・深刻化するリスクを抱え、自動車を始めとする製造業の生産制約の解消にもまだ時間がかかりそうであるが、ウクライナ情勢の影響による不透明感は一層増しているものの、アフターコロナへ向け、緩やかな回復をみせると想定されている。

一方、鉄鋼業界では、海外及び国内鉄鋼需要も底堅く推移すると見込まれるが、ロシア・ウクライナ情勢によっては大幅な変動も余儀なくされるような不透明な状況である。このような中、国内鉄鋼メーカーでは、鉄鉱石、石炭及びスクラップ価格の高騰やレアメタル等の副原料の供給不安もあり、厳しい経営環境は今後も続くものと考えられ、粗鋼生産量は前年度同水準で推移すると想定されている。

かかる経済環境の下、①事業継続性を踏まえた基幹設備の更新及び修繕 ②安全かつ丁寧な作業の更なる深化 ③財務体質の強化を重点施策とした予算を組み、人材の効率的活用を推し進めるとともに、販路拡大を目指し、**3事業**について下記の事業経営計画の達成に向けて邁進するものとする。

### 記

#### 1 倉庫事業部門

- (1) 鋼材物流のプロとしての自覚と責任を持ち、日常作業の安全・品質管理に万全を期し、完全無災害を達成する。
- (2) 能動的営業活動の推進や作業効率向上施策(揚荷能力及び回転率の向上並びに機動的な置場計画)を展開し、**取扱数量 480,000t(40,000t/月)、売上高 12億1,900万円**を目指す。
- (3) 構内設備の維持管理や更新による事業継続性を確保しつつ、社内改革や広範な収益確保に向けた取り組みを実施する。

#### 2 加工請負等事業部門

長い水際線と広い背後空間を有し、かつ、加工工場が構内に立地する弊社の特徴を生かした長尺品の加工能力を積極的にアピールするとともに、受注実績を生かした幅広い業種への営業活動に努め、**売上高 4億円**を目指す。

#### 3 施設利用事業部門

資産の効率的活用を努めると共にリサイクル関連事業の拡充により、**売上高 1億6,000万円**を目指す。